

静岡県月例経済報告

(令和2年2月号)

……令和元年12月を中心とした県内経済のすがた……

No. 526

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・需要面	4
・生産面	12
・雇用面	14
・その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和元年12月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和元年12月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しているが、このところ足踏み感がみられる。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが期待されるものの、消費税率引き上げや新型コロナウイルス感染症の影響、海外の政治経済情勢などに注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直しているが、弱めの動きとなっている。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、減少している。
- ・ 生産は、減少している。

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直しているが、弱めの動きとなっている」

大型小売店販売額(12月)は、百貨店、スーパーがいずれも3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(12月)は、ドラッグストアが2か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも3か月連続、コンビニエンスストアが3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車(新車)新規登録台数(12月)は、乗用車、軽自動車がいずれも3か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも3か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(12月)は、持家が6か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家が4か月ぶり、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも6か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(12月)は、9か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(令和元年12月13日)の令和元年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(12月)は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、減少している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（12月）は、自動車²が2か月連続、二輪自動車類が4か月連続、科学光学機器が7か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が5か月連続、エアコンが4か月連続、自動車の部分品が9か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（12月）は、木材が2か月連続、紙類及び同製品が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品が5か月連続、パルプが3か月連続、原動機が2か月連続、自動車の部分品が9か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも8か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,062億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、減少している」

鉱工業生産指数（11月）は、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、電気機械、パルプ・紙・紙加工品がいずれも4か月連続、輸送機械が10か月連続、化学が2か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも6か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は2か月ぶりに上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（11月）は、総合では3か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（12月）は1.47倍で、前月を0.02ポイント上回った。また、71か月連続で1倍を上回った。なお、9か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（12月）は、4か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（11月）は、10か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（12月）は、前年同月比 1.9%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（12月）は、前年同月比 2.9%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

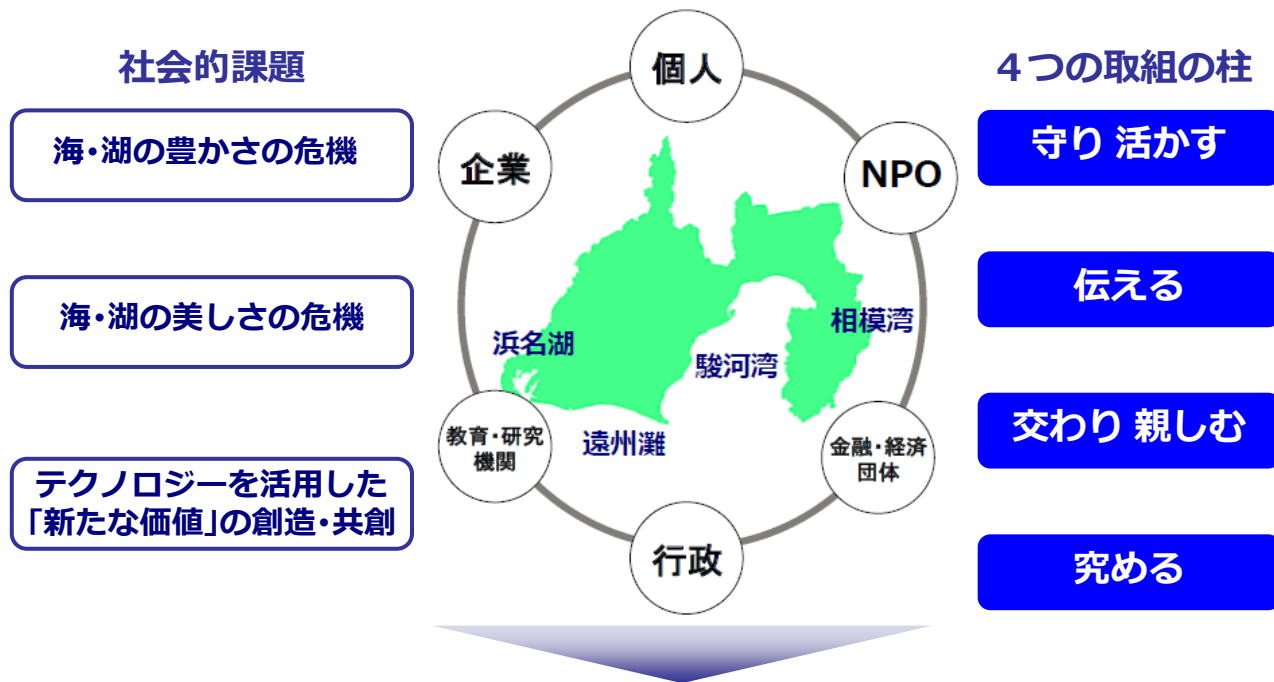
企業倒産（1月）は、件数は18件（前年同月比 20.0%増）、負債総額は59億4,500万円（同 381.3%増）と、前年実績を上回った。

<トピックス> 「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会」

世界に誇るべき、美しく豊かな静岡の海を未来に引き継いでいくため
 様々な人々・企業・団体等の連携・協働を促進する

「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会」

～ 企業・団体・大学・行政等の代表者の皆様120名以上が発起人となり、令和2年2月に設立しました！ ～



「静岡の海」をテーマに、人々・企業・団体等の取組をつなぐ大きなネットワークを形成



今後の取組予定

1 交流会の開催・ホームページ等による情報発信

- 会員団体等の方々が取り組んでいる、静岡の海を「守り活かす」「伝える」「交わり 親しむ」「究める」様々な活動について、情報を共有し、連携を促進するための交流会を開催します。
- 会員団体等の活動を紹介するホームページを公開し、各活動への参加・応援の輪を広げていきます。

2 分科会（仮称）の設置

- 特定のテーマについて志を同じくする会員による連携・参画を促し、静岡の海を未来につなぐ様々な活動を促進します。

会に参加し 共に(ONE TEAMとなって) 行動し 静岡の海を美しく豊かにし 未来につないでいきましょう！

令和2年4月より
 会員募集開始

会員

会の趣旨に賛同する個人・法人(企業・団体)

会費

個人会員：1,000円/年（学生等は任意）
 家族会員：1,500円/年（親1人+子供 ※複数可）
 法人会員：一口 10,000円/年

【問合せ】 静岡県 産業イノベーション推進課 TEL:054-221-2676

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

12月 = 41,861百万円

*前年同月比： 3.9%減

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

12月の大型小売店販売額は41,861百万円で、前年同月比 3.9%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 7.2%減）、スーパー（同 2.9%減）がいずれも3か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 8.4%減）、身の回り品（同 12.5%減）、飲食料品（同 1.0%減）、家庭用品（同 9.9%減）がいずれも3か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は2.9%減と、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	32,493	33,195	33,415	34,021	35,248	31,310	33,275	41,861
前年同月比(%)	▲2.4	▲2.0	▲5.8	▲1.4	7.0	▲7.5	▲1.9	▲3.9
うち百貨店(%)	▲8.6	▲5.4	▲8.8	▲2.7	18.2	▲20.5	▲6.5	▲7.2
スーパー(%)	▲0.9	▲1.2	▲5.0	▲1.1	4.5	▲4.5	▲0.7	▲2.9
(参考1)全国前年同月比(%)	▲0.5	▲0.5	▲4.8	0.4	10.0	▲8.2	▲1.8	▲3.0
うち百貨店(%)	▲1.1	▲1.2	▲3.3	2.0	22.8	▲16.4	▲4.8	▲3.7
スーパー(%)	▲0.2	▲0.1	▲5.5	▲0.2	4.4	▲4.3	▲0.2	▲2.6
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲1.4	▲0.5	▲5.1	0.5	8.9	▲6.3	▲1.0	▲2.9

(注) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	▲2.4	▲2.2	▲12.1	0.9	14.0	▲16.8	▲3.2	▲8.4
うち紳士服・洋品	▲0.1	▲3.4	▲13.7	4.1	9.4	▲14.3	▲0.1	▲9.8
うち婦人・子供服・洋品	▲2.5	▲2.0	▲11.3	1.4	14.7	▲17.4	▲4.5	▲7.8
身の回り品	▲6.7	▲4.4	▲11.6	1.4	22.3	▲23.6	▲9.8	▲12.5
飲食料品	▲1.7	▲1.4	▲3.2	▲1.6	0.1	▲2.7	▲0.4	▲1.0
家庭用品	▲2.5	2.9	▲12.6	1.0	20.8	▲14.6	▲2.0	▲9.9
うち家庭用電気機械器具	16.0	17.6	▲13.1	24.6	38.3	▲16.0	▲8.6	▲16.5

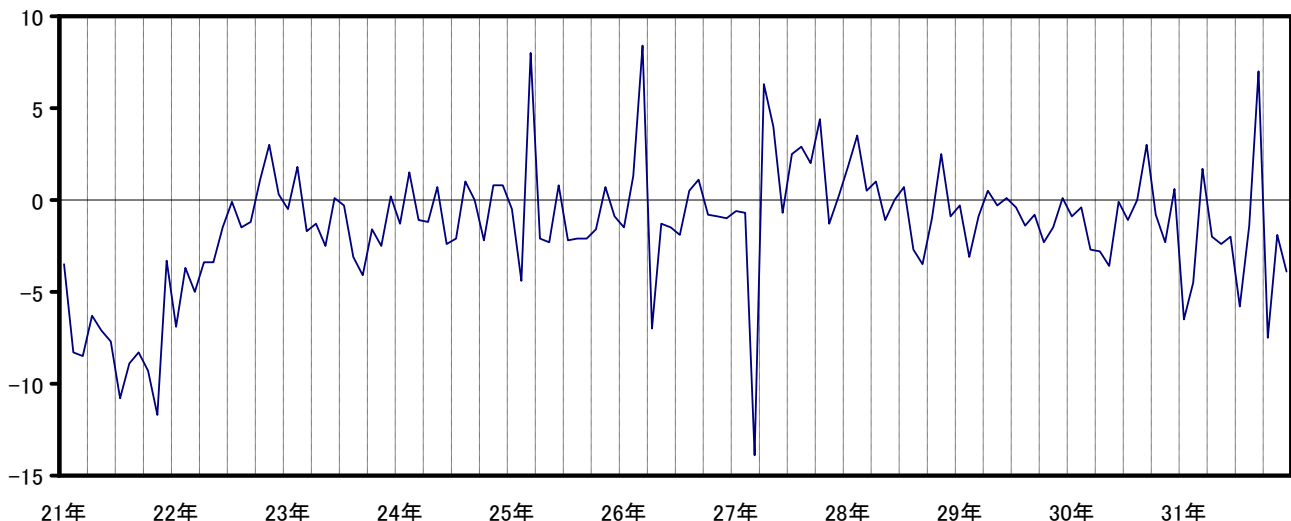
(注) 店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

12月 = 76,503百万円

*前年同月比： 2.1%減

(県内89家電大型専門店、1,685コンビニエンスストア、501ドラッグストア、107ホームセンター合計)

<概況>

12月の専門量販店等販売額は76,503百万円で、前年同月比 2.1%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、ドラッグストア（前年同月比 1.9%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店（同 11.6%減）、ホームセンター（同 5.4%減）がいずれも3か月連続、コンビニエンスストア（同 0.3%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額（百万円）	69,548	68,690	72,912	75,575	77,006	64,524	65,296	76,503
前年同月比（%）	3.4	2.9	▲ 5.1	4.8	15.3	▲ 3.7	0.0	▲ 2.1
うち 家電大型専門店（%）	7.2	8.4	▲ 14.6	14.9	49.0	▲ 15.9	▲ 6.9	▲ 11.6
コンビニエンスストア（%）	2.1	1.1	▲ 3.5	0.7	▲ 0.2	2.3	2.1	▲ 0.3
ドラッグストア（%）	5.0	4.6	▲ 0.4	6.4	21.6	▲ 5.5	1.1	1.9
ホームセンター（%）	1.2	▲ 0.5	▲ 10.3	5.5	23.9	▲ 9.3	▲ 4.1	▲ 5.4
(参考)全国前年同月比（%）	4.3	3.1	▲ 3.0	5.8	15.6	▲ 1.4	0.7	▲ 1.6

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

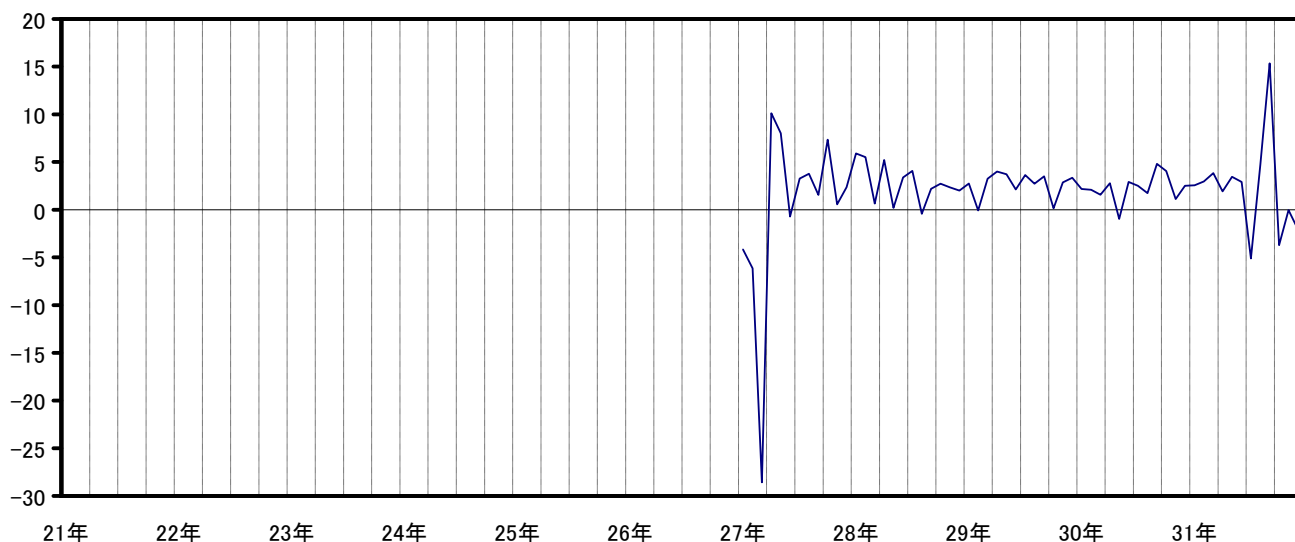
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数**12月 = 11,882 台**

*前年同月比： 10.0%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

12月の自動車(新車)新規登録台数は11,882台(前年同月比 10.0%減)と、3か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 8.3%減)、軽自動車(同 12.2%減)がいずれも3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
登録台数(台)	13,456	15,436	15,791	12,987	18,730	10,962	12,913	11,882
前年同月比(%)	9.1	▲ 1.2	8.0	8.1	11.7	▲ 22.2	▲ 12.3	▲ 10.0
(参考)全国前年同月比(%)	6.4	▲ 2.2	2.9	4.9	13.6	▲ 25.1	▲ 11.6	▲ 11.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

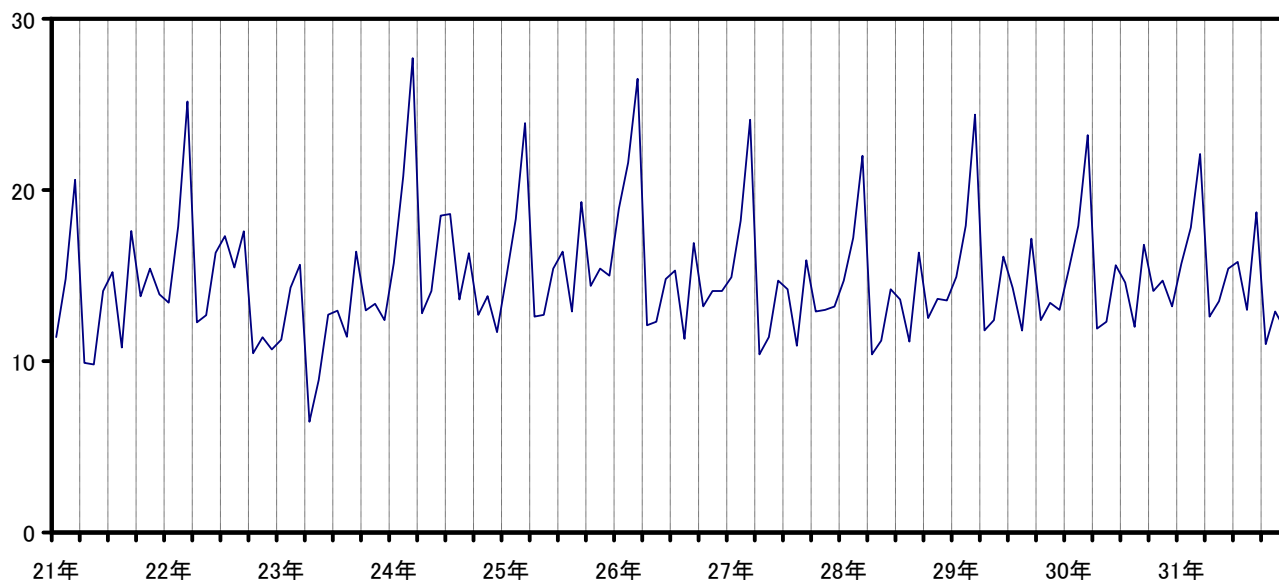
	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全乗用車	9.1	▲ 1.2	8.0	8.1	11.7	▲ 22.2	▲ 12.3	▲ 10.0
乗用車	3.1	▲ 5.3	6.5	0.8	10.4	▲ 28.1	▲ 18.3	▲ 8.3
軽自動車	17.0	4.0	9.9	17.2	13.4	▲ 15.1	▲ 4.5	▲ 12.2

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

12月 = 1,882 戸

*前年同月比： 3.3%増

<概況>

12月の新設住宅着工戸数は1,882戸で、前年同月比 3.3%増と、6か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 6.4%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家（同 20.0%増）が6か月ぶり、分譲住宅（同 2.7%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

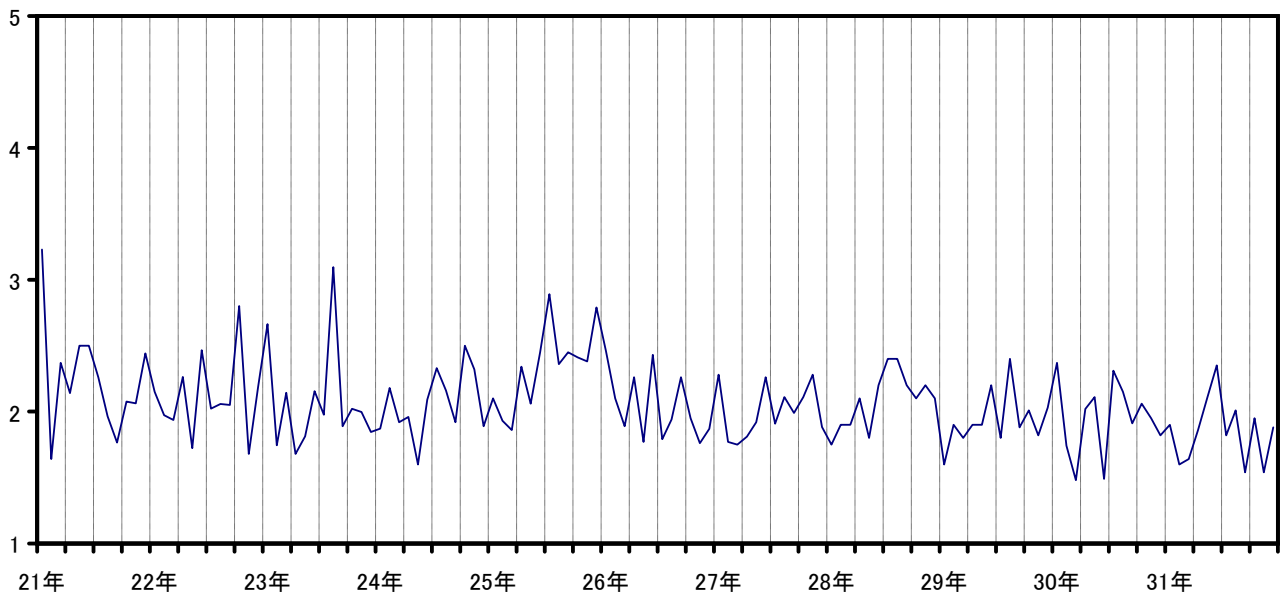
	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
戸数 (戸)	2,110	2,349	1,821	2,013	1,536	1,951	1,539	1,882
前年同月比 (%)	0.1	57.8	▲ 21.1	▲ 6.5	▲ 19.5	▲ 5.2	▲ 21.1	3.3
うち持家 (%)	11.0	34.5	▲ 2.8	▲ 4.8	▲ 6.6	▲ 3.3	▲ 7.6	▲ 6.4
貸家 (%)	▲ 26.6	96.6	▲ 33.0	0.0	▲ 32.1	▲ 25.3	▲ 46.8	20.0
分譲住宅 (%)	20.4	74.7	▲ 45.2	▲ 19.2	▲ 35.3	30.4	▲ 11.7	2.7
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 8.7	0.3	▲ 4.1	▲ 7.1	▲ 4.9	▲ 7.4	▲ 12.7	▲ 7.9

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

12月 = 15,352百万円

*前年同月比：31.2%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

12月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は15,352百万円で、前年同月比31.2%減となり、9か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は545件で、前年同月比24.2%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
金額（百万円）	32,518	41,211	42,486	30,036	64,202	33,436	17,066	15,352
前年同月比（%）	6.0	35.3	42.9	5.9	55.9	40.2	15.1	▲31.2
年度累計前年同月比（%）	23.8	26.6	29.8	26.1	31.6	32.4	31.4	26.5
件数（件）	573	670	881	761	1,076	931	675	545
前年同月比（%）	1.6	▲5.2	1.0	▲11.2	▲9.2	26.2	▲2.2	▲24.2
年度累計前年同月比（%）	▲1.6	▲3.0	▲1.7	▲4.0	▲5.3	▲1.1	▲1.2	▲3.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

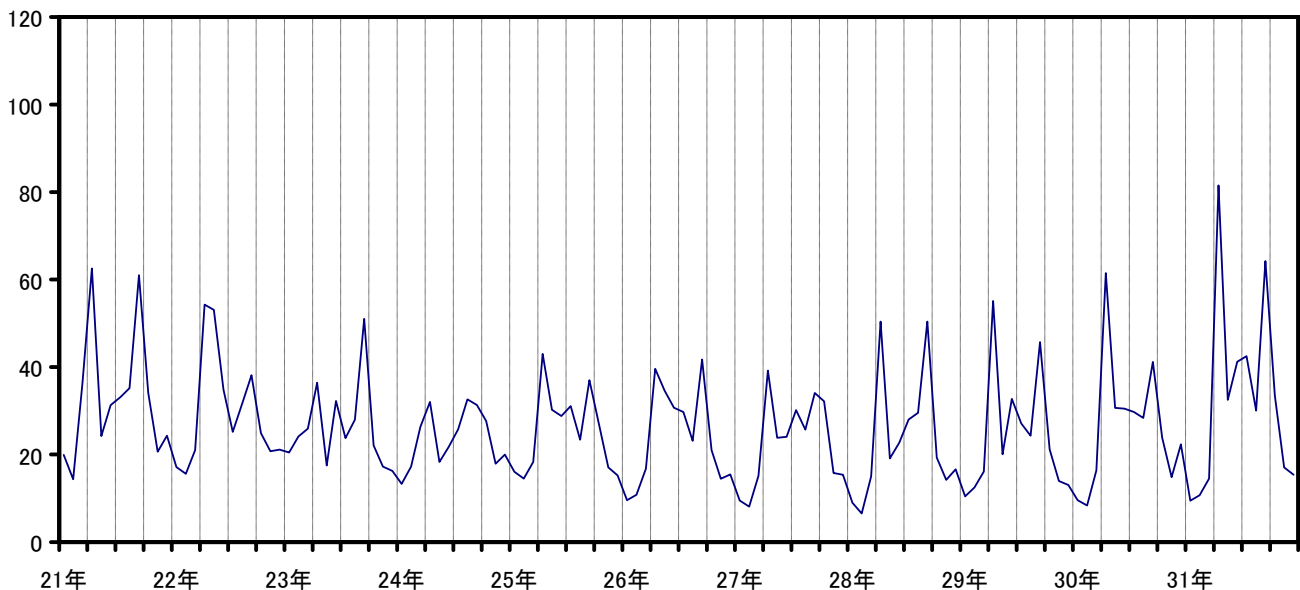
	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国	▲61.3	1.0	27.0	60.8	11.9	194.5	30.5	▲28.7
独立行政法人等	206.6	162.1	44.7	41.5	257.1	▲79.6	66.2	53.0
県	16.6	22.6	43.4	▲14.4	16.6	142.7	83.1	▲32.8
市町	66.0	0.9	46.5	6.5	6.3	4.7	▲2.1	▲44.6
地方公社	▲94.4	974.1	351.9	1,143.7	▲8.8	308.0	▲9.7	▲82.4
その他	▲56.3	308.9	59.0	▲6.6	175.8	91.5	▲73.6	▲71.1

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で減少、非製造業で増加し、全産業で増加の実績となっている。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加の実績となっている。

令和元年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 19.2%増）で増加、非製造業（同 7.4%減）で減少し、全産業（同 5.8%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 9.3%増）で増加、非製造業（同 5.6%減）で減少し、全産業（同 5.1%増）では増加する計画となっている。

12月の着工建築物床面積（非居住用）は131,035㎡で、前年同月比 38.2%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		30年度 (実績)	R元年度 (計画)
全産業	県	5.7	(▲5.3) 5.8
	全国	6.6	(0.8) 3.3
製造業	県	▲2.1	(▲4.3) 19.2
	全国	8.6	(▲0.5) 6.8
非製造業	県	14.7	(▲6.6) ▲7.4
	全国	5.4	(1.6) 1.2

（ ）内は前回調査比修正率

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		30年度 (実績)	R元年度 (計画)
全産業	県	7.2	(▲4.2) 5.1
	全国	5.1	(▲0.3) 5.0
製造業	県	4.4	(▲3.1) 9.3
	全国	5.8	(▲0.8) 5.4
非製造業	県	15.3	(▲7.4) ▲5.6
	全国	4.4	(0.3) 4.7

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和元年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和元年12月調査)」

<最近の動き>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	149,579	162,872	106,559	118,214	91,195	189,974	118,282	131,035
前年同月比（%）	▲16.8	19.7	▲62.6	▲23.1	▲61.5	64.0	35.4	▲38.2
（参考）全国前年同月比（%）	▲0.5	1.7	0.4	▲5.1	▲18.4	▲14.8	▲9.7	▲2.5

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R元年9月	12月	R2年3月 (予測)
全産業	全産業	4	▲1	▲4
	製造業	▲3	▲10	▲13
	非製造業	9	6	3
（参考）全国・全産業		8	4	0

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和元年12月調査)」

5 輸出

12月 = 186,918百万円

*前年同月比： 11.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

12月の清水税関支署管内の輸出総額は186,918百万円で、前年同月比 11.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。
 主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 14.5%増）が2か月連続、二輪自動車類（同 7.0%増）が4か月連続、科学光学機器（同 20.3%増）が7か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 18.5%減）が5か月連続、エアコン（同 38.4%減）が4か月連続、自動車の部分品（同 16.5%減）が9か月連続で前年実績を下回った。
 地域別にみると、アジア向け（前年同月比 6.4%減）が2か月連続、米国向け（同 15.2%減）が5か月連続、EU向け（同 14.9%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出総額(百万円)	152,438	176,901	207,660	162,445	163,977	187,479	176,430	186,918
前年同月比(%)	▲ 3.6	▲ 8.4	13.6	▲ 6.8	▲ 14.8	0.5	▲ 2.0	▲ 11.5

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
原動機	22.3	14.8	16.4	▲ 16.0	▲ 28.2	▲ 11.5	▲ 13.3	▲ 18.5
エアコン	▲ 7.8	▲ 28.8	▲ 7.9	0.1	▲ 26.2	▲ 0.8	▲ 30.0	▲ 38.4
自動車	▲ 27.5	▲ 18.9	▲ 5.8	▲ 13.2	▲ 29.0	▲ 10.9	12.8	14.5
自動車の部分品	▲ 13.0	▲ 17.4	▲ 14.7	▲ 16.9	▲ 23.7	▲ 16.2	▲ 10.2	▲ 16.5
二輪自動車類	▲ 13.2	▲ 16.0	10.0	▲ 2.1	21.4	37.1	13.3	7.0
科学光学機器	0.0	19.4	43.8	41.0	19.1	31.1	8.8	20.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	▲ 4.1	▲ 13.2	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 13.5	0.2	▲ 3.7	▲ 6.4
米国	3.9	2.1	58.6	▲ 14.7	▲ 14.1	▲ 10.9	▲ 7.5	▲ 15.2
EU	▲ 5.3	6.8	11.4	▲ 4.4	▲ 16.7	22.2	11.8	▲ 14.9

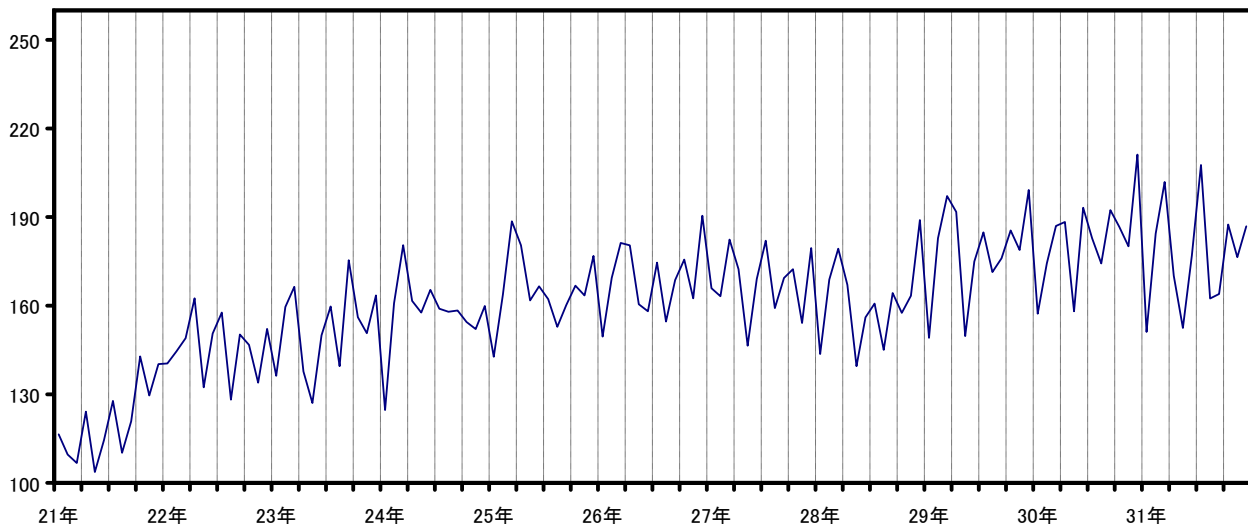
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

12月 = 80,751百万円

*前年同月比： 19.9%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

12月の清水税関支署管内の輸入総額は80,751百万円で、前年同月比 19.9%減となり、8か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 2.4%増）が2か月連続、紙類及び同製品（同 15.2%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 32.6%減）が5か月連続、パルプ（同 15.6%減）が3か月連続、原動機（同 15.5%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 34.6%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 14.4%減）、米国から（同 10.7%減）がいずれも3か月連続、EUから（同 32.9%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸入総額(百万円)	95,922	87,418	91,544	83,231	83,675	86,682	91,226	80,751
前年同月比(%)	▲ 2.4	▲ 0.5	▲ 4.6	▲ 6.9	▲ 1.2	▲ 17.4	▲ 6.0	▲ 19.9

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類及び同調製品	9.1	▲ 18.9	4.3	▲ 25.5	▲ 7.0	▲ 18.3	▲ 10.8	▲ 32.6
木材	19.4	▲ 3.0	14.8	▲ 18.3	▲ 1.7	▲ 14.5	11.4	2.4
パルプ	▲ 5.7	6.3	▲ 38.3	▲ 0.8	5.4	▲ 43.8	▲ 33.9	▲ 15.6
紙類及び同製品	▲ 2.2	▲ 1.5	24.7	26.7	▲ 8.0	9.8	▲ 14.5	15.2
原動機	10.0	60.3	34.9	0.9	67.2	1.0	▲ 15.4	▲ 15.5
自動車の部分品	▲ 11.9	▲ 16.8	▲ 41.8	▲ 34.8	▲ 20.5	▲ 42.5	▲ 40.3	▲ 34.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

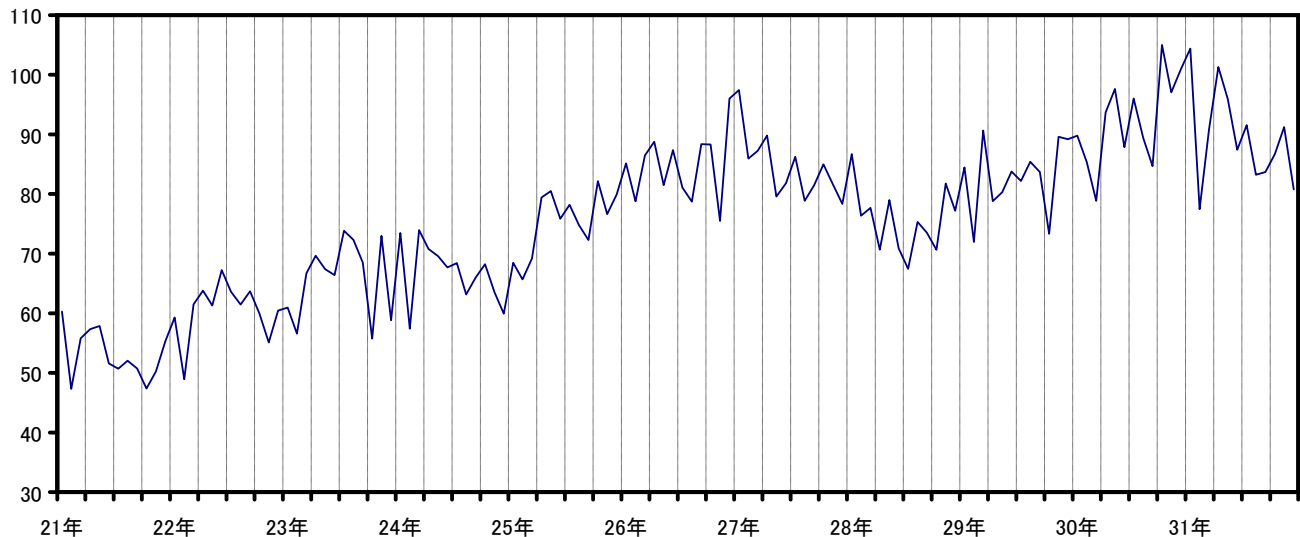
	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	▲ 8.0	0.9	▲ 3.3	▲ 10.8	10.0	▲ 10.8	▲ 10.1	▲ 14.4
米国	13.9	51.3	46.2	▲ 24.1	19.9	▲ 3.2	▲ 8.2	▲ 10.7
EU	9.0	▲ 20.0	12.3	▲ 22.6	▲ 2.0	▲ 37.4	▲ 27.1	▲ 32.9

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生 産 面

1 生 産

(1) 鉱工業生産指数

11月 = 102.3

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.6%増

*前年同月比(原指数) : 5.8%減

<概況>

11月の鉱工業生産指数(総合)は102.3(季節調整済指数)で、前月比2.6%増と、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は5.8%減と、6か月連続で前年水準を下回った。
業種別にみると、食料品・たばこ(前年同月比0.4%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同0.5%減)が2か月ぶり、電気機械(同4.7%減)、パルプ・紙・紙加工品(同9.4%減)がいずれも4か月連続、輸送機械(同6.6%減)が10か月連続、化学(同7.7%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指 数	103.9	104.4	98.5	102.3	98.0	100.2	99.7	102.3
前 月 比 (%)	1.5	0.5	▲ 5.7	3.9	▲ 4.2	2.2	▲ 0.5	2.6
前 年 同 月 比 (%)	3.0	1.5	▲ 6.4	▲ 0.6	▲ 8.2	▲ 4.9	▲ 7.1	▲ 5.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 1.1	▲ 1.8	▲ 4.1	0.7	▲ 4.7	1.1	▲ 7.7	▲ 8.1

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	17.2	16.2	1.4	21.1	5.4	▲ 7.6	1.8	▲ 0.5
電 気 機 械 工 業	1.3	4.5	▲ 3.1	0.8	▲ 17.3	▲ 14.6	▲ 11.4	▲ 4.7
輸 送 機 械 工 業	▲ 1.3	▲ 4.3	▲ 18.5	▲ 11.8	▲ 12.6	▲ 10.6	▲ 10.3	▲ 6.6
化 学 工 業	11.1	▲ 5.3	0.8	2.0	▲ 6.4	5.4	▲ 0.9	▲ 7.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 2.6	▲ 6.0	▲ 5.3	4.3	▲ 14.1	▲ 7.7	▲ 8.6	▲ 9.4
食料品・たばこ工業	▲ 0.2	9.6	▲ 0.1	4.8	▲ 0.6	5.0	▲ 6.4	0.4

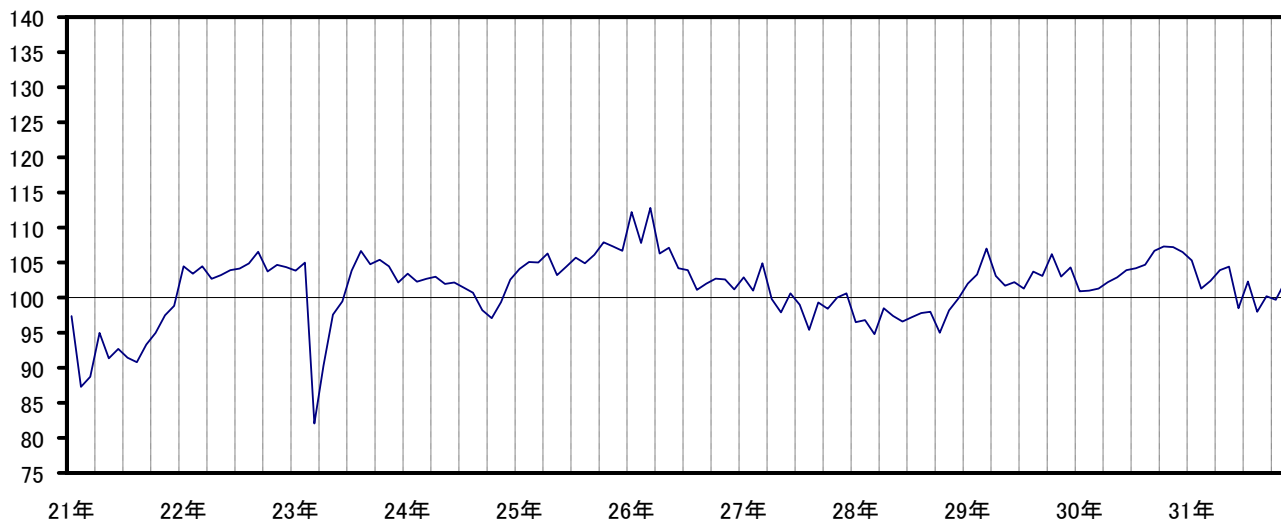
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

11月 = 109.0

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.3%増

*前年同月比(原指数) : 0.8%減

<概況>

11月の鋳工業在庫指数(総合)は109.0(季節調整済指数)で、前月比は1.3%増と、2か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は0.8%減と、3か月連続で前年水準を下回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 33.4%増)が11か月連続、電気機械(同 2.4%増)が7か月連続、化学(同 4.9%増)、パルプ・紙・紙加工品(同 0.3%増)がいずれも3か月ぶり、食料品・たばこ(同 5.0%増)が9か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械(同 27.3%減)が11か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	111.4	106.4	105.0	105.9	110.5	105.3	107.6	109.0
前月比(%)	▲2.0	▲4.2	0.8	0.7	2.6	▲4.4	2.2	1.3
前年同月比(%)	3.1	▲2.6	0.5	1.5	1.1	▲9.5	▲3.2	▲0.8
(参考)全国前年同月比(%)	1.2	1.6	2.9	2.4	2.7	0.7	2.6	1.5

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	29.3	26.2	19.9	22.1	23.2	22.9	24.9	33.4
電気機械工業	▲0.3	9.9	9.0	13.2	9.0	7.4	2.6	2.4
輸送機械工業	▲32.4	▲35.0	▲32.8	▲33.8	▲24.8	▲47.9	▲18.7	▲27.3
化学工業	9.6	▲8.2	8.4	0.7	3.5	▲17.4	▲8.8	4.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.1	1.3	2.2	6.9	2.3	▲7.5	▲1.6	0.3
食料品・たばこ工業	12.4	3.7	7.3	24.7	19.0	16.0	6.6	5.0

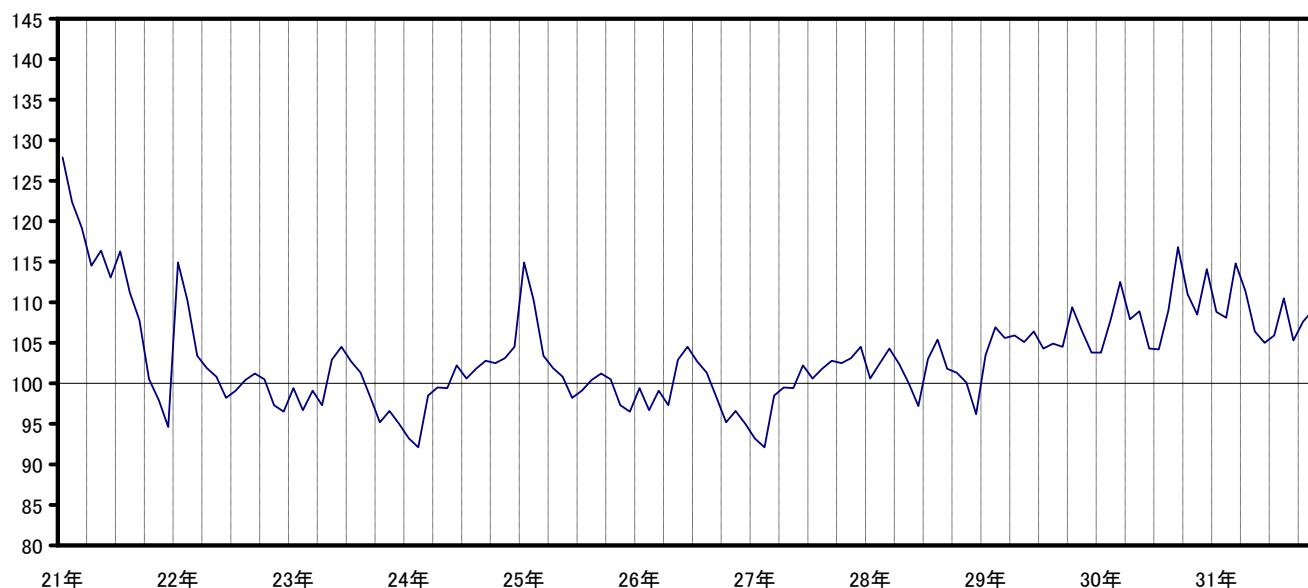
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

12月 = 1.47倍

*前月比（季節調整値）：0.02ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

12月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.47倍となり、前月を0.02ポイント上回った。また、9か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比1.0%減）は16か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比0.1%増）が2か月ぶり、運輸業・郵便業（同14.2%増）が8か月ぶり、卸売業・小売業（同3.7%増）が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、製造業（同14.5%減）が13か月連続、情報通信業（同37.4%減）が16か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同6.9%減）が8か月連続、医療・福祉（同3.0%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	1.56	1.56	1.57	1.57	1.54	1.51	1.45	1.47
全 国	1.62	1.61	1.59	1.59	1.57	1.57	1.57	1.57

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建設業	▲2.2	▲7.7	▲9.6	0.3	5.2	1.5	▲2.3	0.1
製造業	▲18.3	▲11.2	▲7.9	▲18.7	▲11.7	▲20.3	▲25.8	▲14.5
情報通信業	▲8.4	▲24.1	▲24.6	▲21.6	▲28.6	▲15.3	▲3.6	▲37.4
運輸業・郵便業	▲6.2	▲3.8	▲9.8	▲2.9	▲3.3	▲12.8	▲11.8	14.2
卸売業・小売業	▲16.2	4.7	▲0.9	▲12.4	19.0	▲12.6	▲13.2	3.7
医療・福祉	▲0.4	3.8	0.1	5.7	▲1.5	2.0	▲1.8	▲3.0
サービス業（他に分類されないもの）	▲29.8	▲11.8	▲15.4	▲16.4	▲19.7	▲23.8	▲39.1	▲6.9
合 計	▲12.1	▲4.7	▲5.9	▲7.3	▲2.7	▲12.4	▲13.5	▲1.0

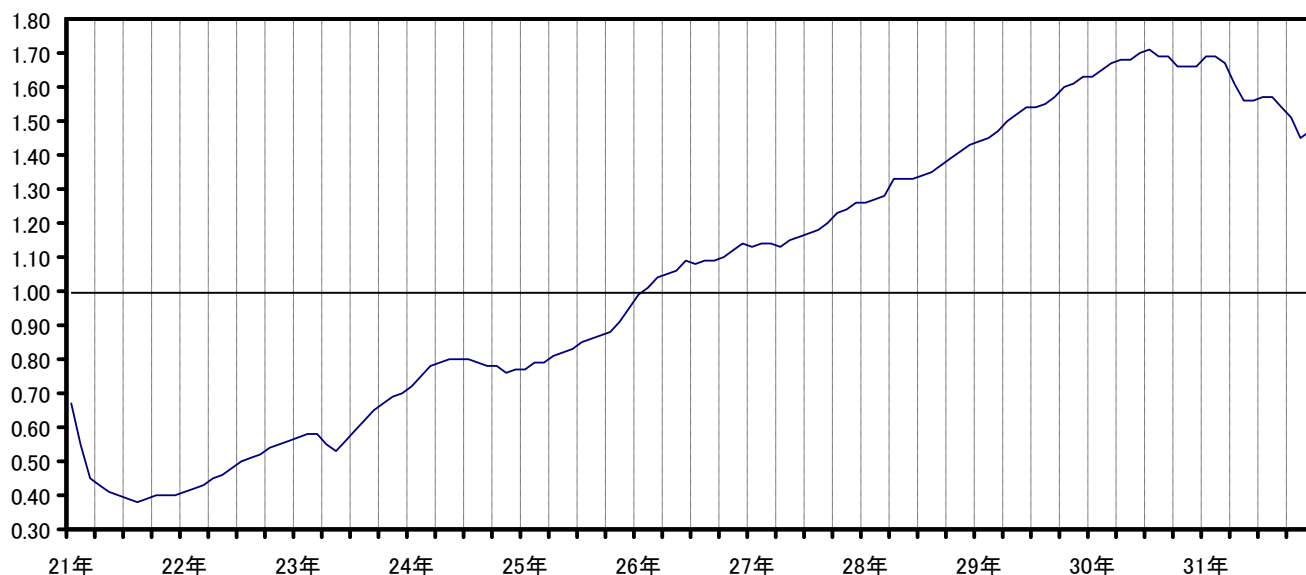
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

12月 = 10,675人

*前月比: 2.0%減

*前年同月比: 11.5%増

<概況>

12月の雇用保険受給者実人員は10,675人で、前月比は2.0%減と、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は11.5%増と4か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.2%と前月と同水準だった。

静岡県(令和元年7月~9月)の完全失業率は2.1%で、前期(平成31年4月~令和元年6月)から0.1ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人員(人)	10,787	10,637	11,426	11,366	11,529	11,551	10,895	10,675
前月比(%)	10.9	▲1.4	7.4	▲0.5	1.4	0.2	▲5.7	▲2.0
前年同月比(%)	▲0.5	1.2	4.1	▲0.4	8.7	6.1	6.9	11.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.3	2.1	4.8	▲1.0	3.3	0.2	1.5	8.1

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率(全国)(%)	2.4	2.3	2.2	2.2	2.4	2.4	2.2	2.2

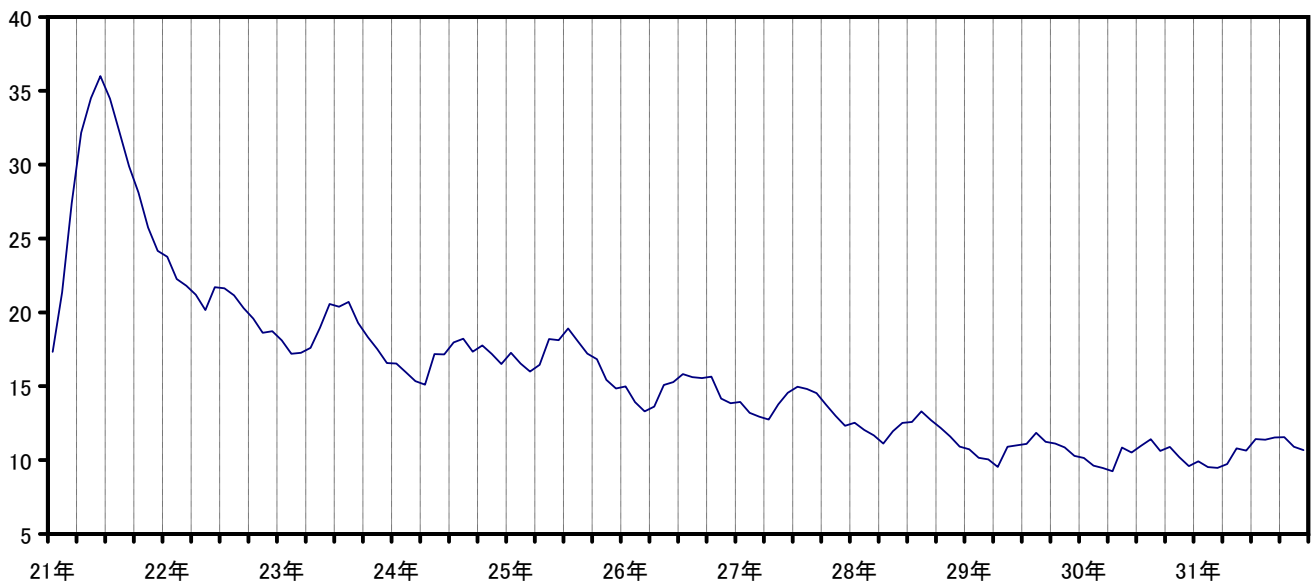
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

11月 = 81.8

*前月比(季節調整済指数): 3.9%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 13.8%減

<概況>

11月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は81.8(季節調整済指数)で、前月比3.9%減となった。また、前年同月比(原指数)は13.8%減と10か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比159.7%増)が6か月連続、情報通信業(同1.2%増)が2か月ぶり、卸売業・小売業(同5.3%増)が13か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同21.3%減)が13か月連続、運輸業・郵便業(同2.2%減)が5か月ぶり、医療・福祉(同20.5%減)が3か月ぶりに前年実績を下回った。その他のサービス業は前年実績と同水準だった。

<最近の動き>

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	92.4	88.0	84.1	88.4	90.9	87.6	85.1	81.8
前月比(%)	▲0.5	▲4.8	▲4.4	5.1	2.8	▲3.6	▲2.9	▲3.9
前年同月比(%)	▲1.5	▲8.9	▲11.1	▲8.9	▲3.9	▲3.8	▲10.1	▲13.8
(参考)全国前年同月比(%)	0.8	0.0	▲0.8	▲0.8	▲1.7	0.0	▲2.3	▲3.8

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	94.7	▲69.9	103.2	137.8	177.0	177.0	152.7	159.7
製造業	▲10.1	▲9.8	▲18.4	▲19.1	▲12.8	▲16.7	▲19.8	▲21.3
情報通信業	77.5	20.3	25.5	28.9	12.2	12.4	▲6.7	1.2
運輸業・郵便業	▲2.4	▲5.5	▲8.1	0.0	0.0	3.3	3.5	▲2.2
卸売業・小売業	3.6	24.3	10.7	21.2	14.3	15.2	21.9	5.3
医療・福祉	20.9	35.5	▲17.7	▲6.9	▲16.1	23.5	0.0	▲20.5
その他のサービス業	0.0	21.7	1.4	▲3.7	▲6.6	6.3	▲5.7	0.0
調査産業計	▲1.5	▲8.9	▲11.1	▲8.9	▲3.9	▲3.8	▲10.1	▲13.8

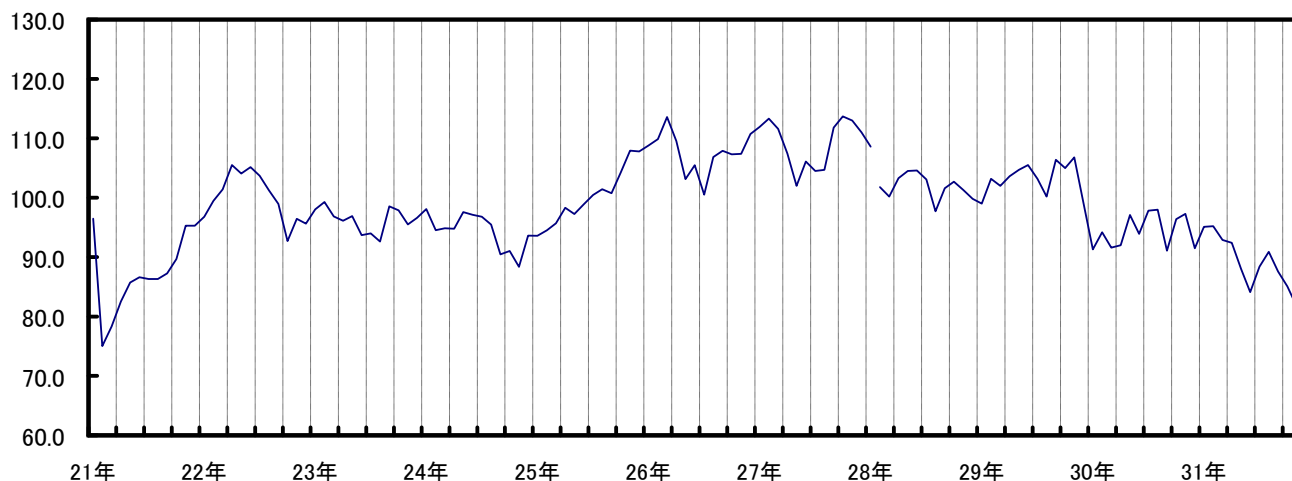
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

1 月 = 102.5

*前 月 比: 0.2%上昇

(平成27年=100)

*前年同月比: 1.7%上昇

<概 況>

1月の国内企業物価指数は102.5となり、前月を0.2%の上昇となった。また、前年同月比は1.7%の上昇となった。

<最近の動き>

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月
国内企業物価指数	101.2	101.2	100.9	100.9	102.0	102.2	102.3	102.5
前 月 比 (%)	▲ 0.5	0.0	▲ 0.3	0.0	1.1	0.2	0.1	0.2
前年同月比 (%)	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 1.1	▲ 0.4	0.1	0.9	1.7

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

12月 = 136,220億円

*前 月 比: 0.7%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 1.9%減

<概 況>

12月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は136,220億円で、前月比は0.7%の増加となった。また、前年同月比は1.9%の減少となった。

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出残高(億円)	135,374	136,062	135,675	135,630	136,142	134,978	135,303	136,220
前 月 比 (%)	▲ 0.5	0.5	▲ 0.2	▲ 0.0	0.4	▲ 0.9	0.2	0.7
前年同月比 (%)	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 1.9	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 1.9

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

12月 = 1.739%

*前 月 差: 0.019ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.186ポイント減

<概 況>

12月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.739%で、前月から0.019ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.186ポイントのマイナスとなった。

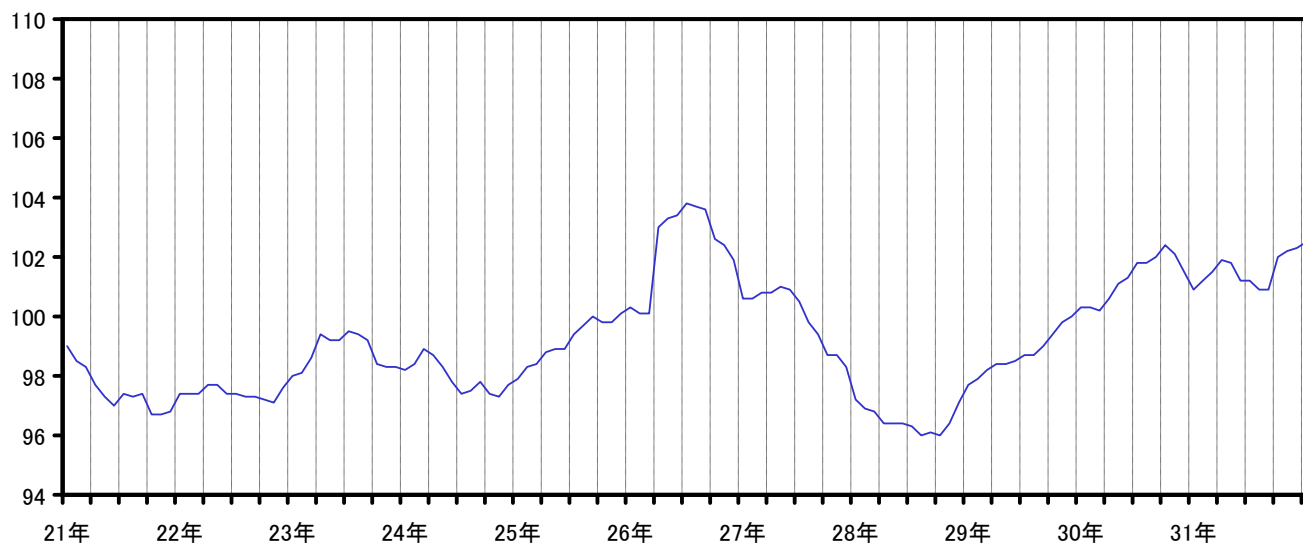
	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出約定金利(%)	1.833	1.813	1.794	1.786	1.773	1.770	1.758	1.739
前月差(ポイント)	▲ 0.011	▲ 0.020	▲ 0.019	▲ 0.008	▲ 0.013	▲ 0.003	▲ 0.012	▲ 0.019
前年同月差(ポイント)	▲ 0.215	▲ 0.209	▲ 0.224	▲ 0.213	▲ 0.204	▲ 0.200	▲ 0.194	▲ 0.186

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

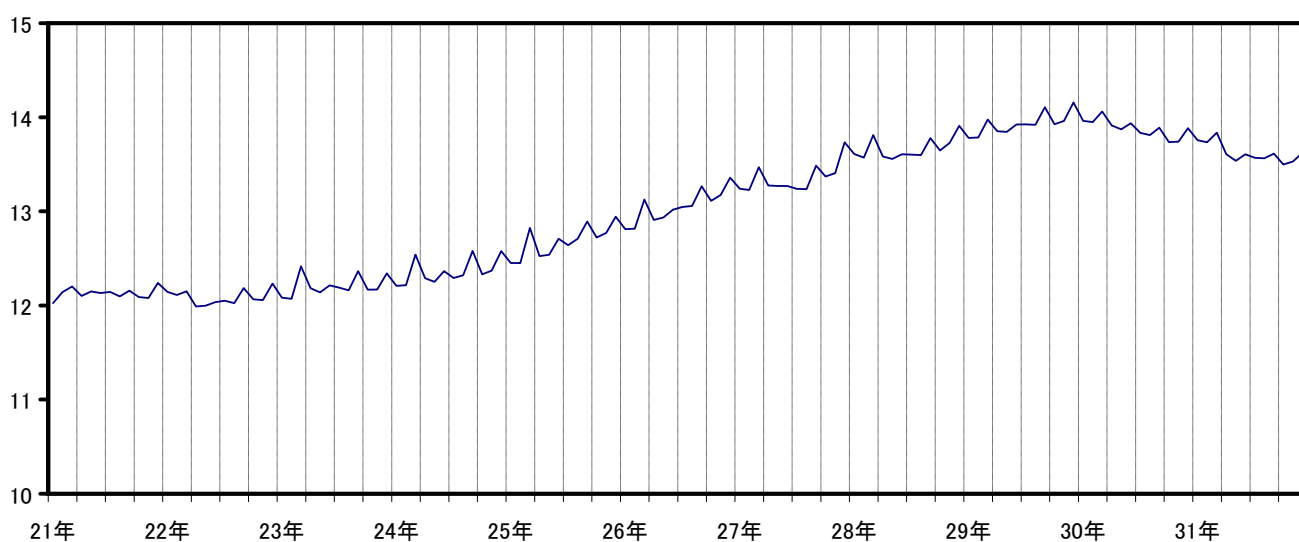
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



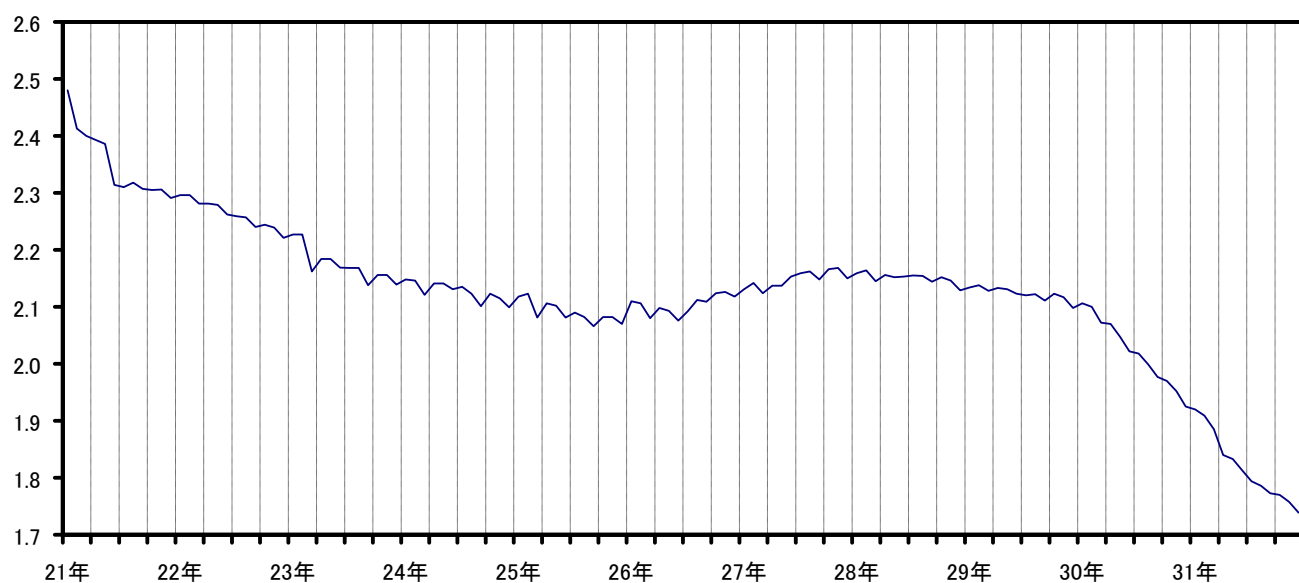
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

12月 = 20,126百万円

*前年同月比： 2.9%増

<概況>

12月の保証承諾は、金額は20,126百万円（前年同月比 2.9%増）と、4か月連続で前年実績を上回り、件数は2,028件（同 7.4%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額（百万円）	12,821	14,713	15,500	14,709	18,990	17,473	20,407	20,126
前年同月比（%）	▲ 28.7	▲ 19.8	▲ 18.5	▲ 15.4	1.8	8.4	14.8	2.9
保証件数（件）	1,406	1,545	1,667	1,617	1,844	1,801	2,011	2,028
前年同月比（%）	▲ 11.3	▲ 21.1	▲ 13.2	▲ 18.7	▲ 0.8	6.4	15.3	7.4

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場

1月 = 109.34円/ドル

*前月差： 0.16円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 0.39円安

<概況>

1月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は109.34円で、前月と比べて0.16円の円安となり、5か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月
平均相場（円）	108.06	108.22	106.27	107.41	108.12	108.86	109.18	109.34
前月差（円）	▲ 1.77	0.16	▲ 1.95	1.14	0.29	0.74	0.32	0.16
前年同月差（円）	▲ 1.97	▲ 3.15	▲ 4.79	▲ 4.48	▲ 4.66	▲ 4.51	▲ 3.27	0.39

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数**

1月 = 18件

*前年同月比： 20.0%増

<概況>

1月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は18件（前年同月比 20.0%増）と、前年実績を上回り、負債総額は5,945百万円（同 381.3%増）と、前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が14件と全体の77.8%を占め、266か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

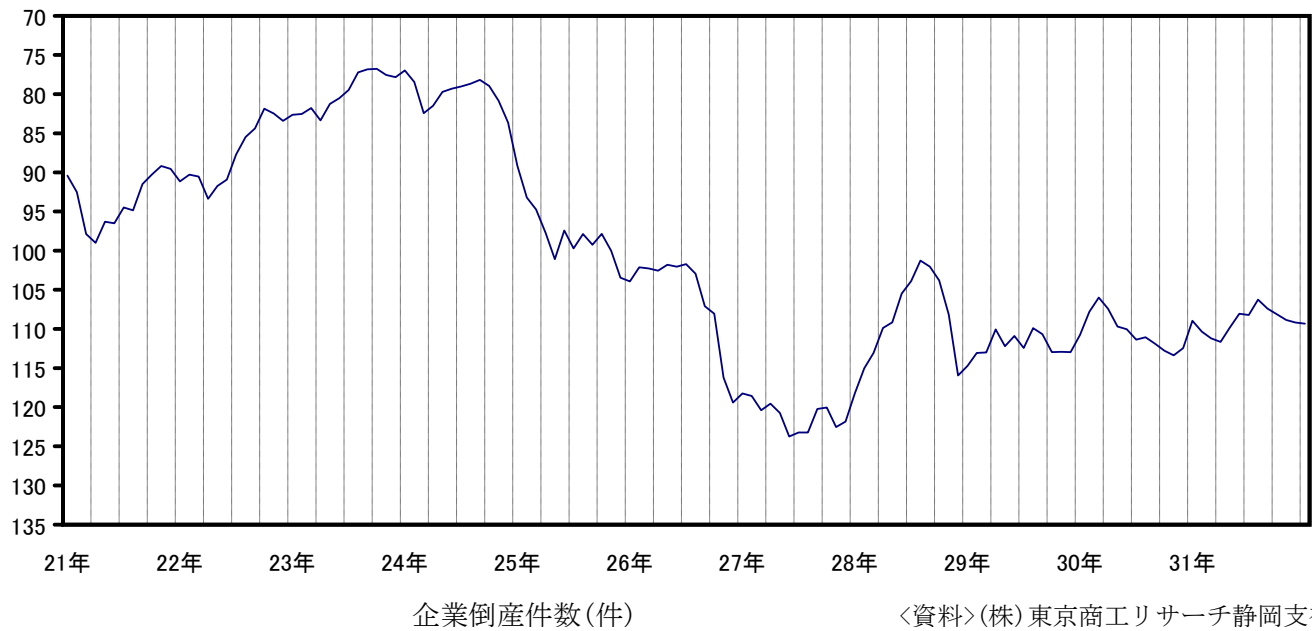
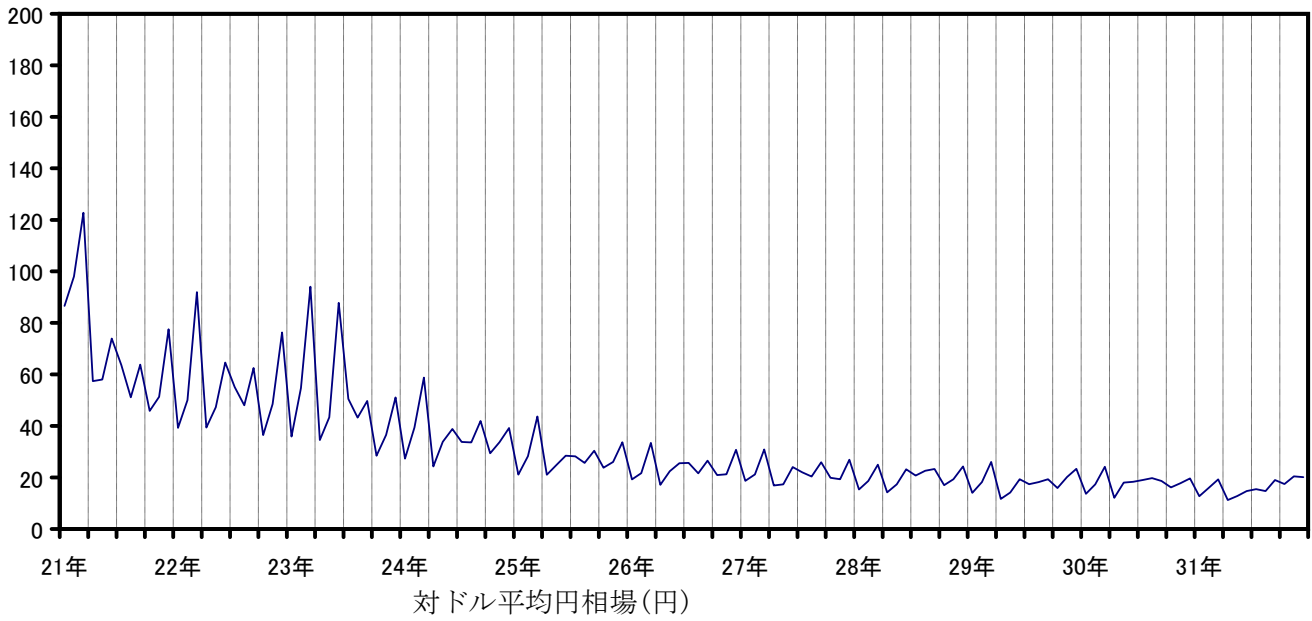
	R元年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2年1月
倒産件数（件）	14	29	12	20	15	23	12	18
前年同月比（%）	▲ 48.1	81.2	▲ 45.4	100.0	▲ 25.0	35.2	▲ 29.4	20.0
うち不況型倒産件数(件)	12	26	11	17	11	22	10	14
負債総額（百万円）	3,193	3,911	1,458	1,542	1,722	2,905	41,289	5,945
前年同月比（%）	▲ 40.2	86.3	▲ 37.3	132.9	▲ 51.9	29.8	1,558.8	381.3

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

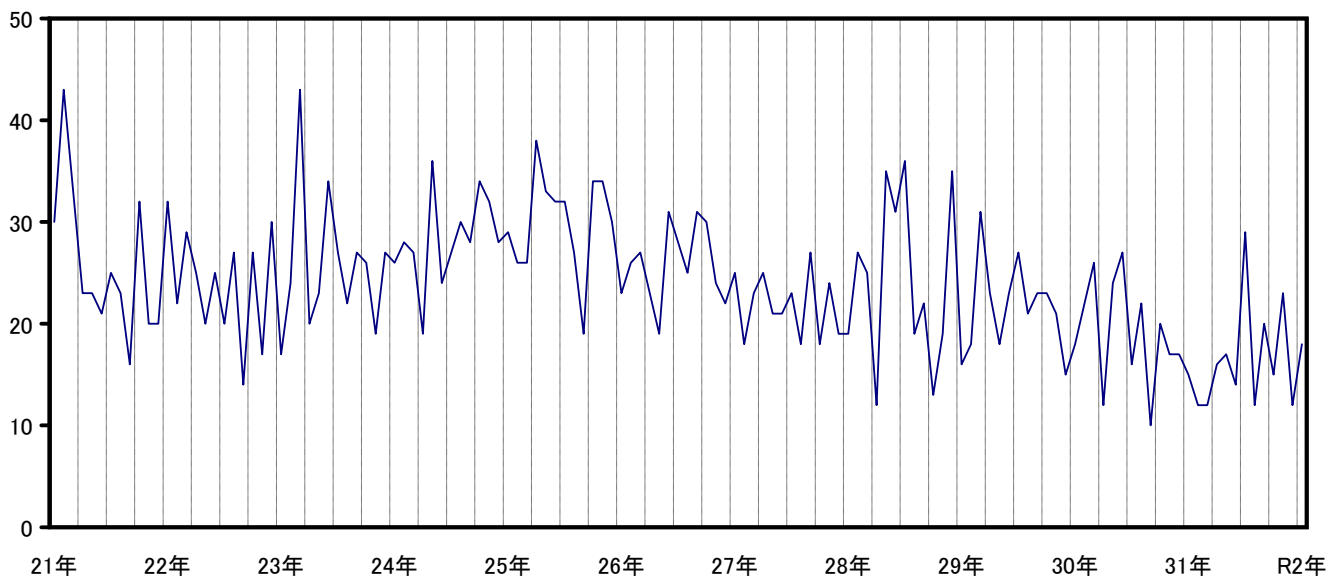
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和元年12月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>11月の国内二輪車生産台数は、51,140台（前年同月比14.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、8,970台（同30.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,787台（同2.1%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,670台（同2.5%増）で、4か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、34,713台（同12.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、25,193台（同23.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、37,698台（同7.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>11月の自動車国内生産台数は、804,523台（前年同月比9.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。輸出は413,954台（同4.1%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが4か月連続、乗用車が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電 気 機 械	<p>12月の冷蔵庫の国内出荷額は321億円（前年同月比14.2%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は295千台（同4.7%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>12月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは585千台（同6.7%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。業務用は67千台（同5.9%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>12月の携帯電話の国内出荷台数は、1,572千台（同37.7%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,176千台（同56.5%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は74.8%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生 産 用 機 械	<p>12月の工作機械の受注総額は、901億1,400万円（前年同月比33.5%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は528億700万円（同32.6%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが197億8,000万円（同34.8%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。内需は373億700万円（同34.7%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「中国経済落ち込みの影響が大きい。世界的な貿易問題が影響し、設備投資需要が低下している。」という声や「受注案件が再来年にまで繰り延べになる事例も出てきており、来年度の不透明感が一層強まっている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>12月の県内楽器メーカーの販売金額は、50億3,650万円（前年同月比 1.1%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが27億2,810万円（同 3.6%増）で、国内向けが23億840万円（同 6.1%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,007台（同 6.4%増）だった。機種別では、アップライトピアノが1,981台（同 6.6%増）、グランドピアノ1,026台（同 6.2%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,387台（同20.4%増）、国内向けが1,070台（同 7.2%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>12月の紙・板紙の国内出荷高は、1,979千ト（前年同月比 6.1%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,023千ト（同 9.5%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。板紙は956千ト（同 2.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、551千ト（同 12.7%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、157千ト（同 2.1%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>12月の県内生産量は、食缶類が国内向け993千箱（前年同月比 4.7%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は650千箱（同 1.8%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は477千箱（同 0.1%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は343千箱（同19.8%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,910千箱（同 3.7%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>12月の広幅織物の県内生産は、1,381千㎡（前年同月比 15.7%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,317千㎡（同 15.7%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、64千㎡（同 17.0%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、25千㎡（同 16.6%減）で、21か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>12月の全国百貨店での家具販売額は、56億3,009万円（前年同月比 2.6%減）と3か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、627億5,586万円（同13.5%減）と3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>12月の県内百貨店・スーパーの販売額は、41,861百万円（既存店前年同月比3.9%減）と前年実績を下回った。品目別では、全ての品目で前年同月の売上げを下回り、身の回り品では前年比1割強の減少が見られた。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、青果品は前年同月と同じ水準を保ったものの、鍋商材の動きが鈍る等、暖冬が売上げに影響した。単身世帯や高齢者世帯の増加といった家族構成や消費者の嗜好の変化により、年末年始の定番商品の売上げが減少し、他の全ての品目で前年同月を下回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、消費増税による影響や、クリスマス時期が平日であったこと等により、売上げ、来客数、客単価の全てにおいて前年同月を下回った。品目別では、暖冬も衣料品や身の回り品の売上げの減少に影響した。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、暖冬の影響により単価の高い重衣料の売上げが不調で客単価が伸び悩み、売上げが減少した。一方、キャッシュレスによる決済比率は上昇傾向だった。</p> <p>消費増税後の反動が一部で続いているほか、消費者の家族構成や嗜好の変化、気候の変動といった商業を取り巻く環境の変化が、季節的な定番商品が多い12月の売上げの低下に影響したと見られる。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>12月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約26万人で、前年同月比6.7%減だった。</p> <p>日本平ロープウェイが13日間運休となるなど、前年に比べて低調だった。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約56万台となり、前年同月比0.7%増だった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が9月28日から無料化されたことに伴い、10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完成車生産台数(台)	18,909	18,538	17,742	22,023	16,219	24,634	25,844	26,437	24,281
前年同月比(%)	16.5	30.2	15.1	72.3	49.9	14.8	▲ 11.7	0.9	▲ 1.1
KD輸出額(百万円)	863	1,168	931	1,528	959	1,020	1,233	1,576	1,544
前年同月比(%)	14.7	103.6	63.2	159.4	53.7	43.9	58.2	112.2	104.9

<楽器>

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産総額(百万円)	3,308	3,192	3,151	3,617	2,660	3,000	3,283	3,211	3,099
前年同月比(%)	6.4	1.1	▲ 0.9	13.5	▲ 3.9	8.4	▲ 5.6	▲ 4.1	5.0

<缶詰>

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食缶生産高(千ケース)	1,001	890	946	1,071	901	937	1,036	1,110	993
前年同月比(%)	5.8	▲ 7.3	▲ 1.8	7.6	▲ 6.7	▲ 0.6	▲ 0.7	7.3	4.7
うち水産缶詰(%)	5.9	▲ 9.1	▲ 7.8	▲ 2.9	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 5.9	2.8	▲ 1.8
農畜産缶詰(%)	5.5	▲ 3.2	11.9	32.8	10.0	14.9	11.7	17.9	19.8
飲料缶生産高(千ケース)	7,745	8,036	8,279	8,377	6,578	6,904	6,575	7,153	5,910
前年同月比(%)	12.7	0.1	12.0	17.3	▲ 11.2	1.9	▲ 4.5	2.1	▲ 3.7

<繊維>

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広幅織物(千㎡)	1,278	1,206	1,163	1,096	1,070	1,307	1,370	1,530	1,381
前年同月比(%)	0.4	2.6	▲ 1.1	▲ 3.7	▲ 6.9	▲ 2.7	▲ 8.4	▲ 11.0	▲ 15.7
小幅織物(千㎡)	27	26	26	24	20	23	26	26	25
前年同月比(%)	▲ 12.7	▲ 14.8	▲ 7.3	▲ 12.3	▲ 14.7	▲ 16.5	▲ 10.8	▲ 14.3	▲ 16.6

<観光>

	31年4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
観光施設(10施設)入込 (千人)	557	651	327	304	514	371	313	382	264
前年同月比(%)	8.2	21.4	8.4	6.0	▲ 3.2	4.7	▲ 15.9	▲ 2.9	▲ 6.7
有料道路(4路線 [※])通行量 (千台)	719	760	659	726	881	714	495	556	564
前年同月比(%)	2.8	5.7	0.4	▲ 3.4	▲ 1.1	5.8	▲ 9.4	▲ 1.8	0.7

※令和元年9月までは5路線、令和元年10月以降は4路線

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和2年2月号 通巻526号

発行 静岡県経済産業部
令和2年2月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>